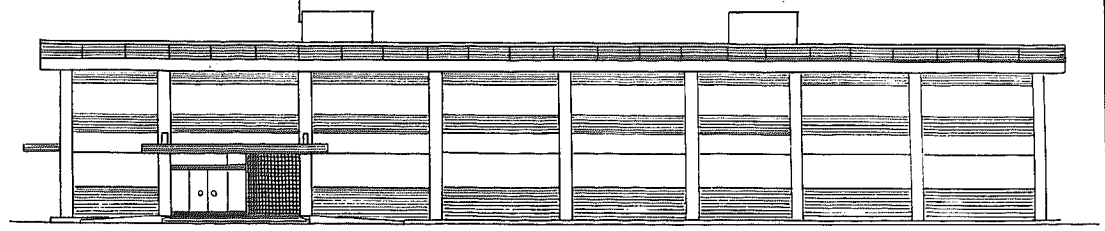
岩小・間中・転用きまる

大衆に愛され、公共施設に



小中学校の学校統合による，教育効果の充実を図ってきたが，その結果，間瀬中学，岩室小西校舎があき，その転用が注目されていましたが，転用については特定の人々にのみ，利用される施設ではなく，広く大衆性と公共性のある施設と研究されていたが，このたび正式に転用が決定した。間中は東北六県の（海をもたない県）『海の憩の家』，岩小は『温泉病院』に，それぞれ，自然の恵み，海と温泉を利用した建物に生まれかわり，『大衆に愛される村，岩室』に前進しつつある。（温泉病院，管理棟完成予想図）

温泉と海を生かし〝温泉病院〟と〝海の家〟

岩室西校舎　建物二、二四一㎡、敷地六、八〇八㎡、温泉病院として出発する。温泉を利用しての県下唯一の温泉専門病院としての建設だけに、医療関係方面や病気に悩む患者から完成が待たれている。この計画は新潟県労働衛生医学協会（広神伊藤会長）が総工費一億四千三百万円を投入し建設、最近の死因別統計によると脳卒中などの成人病の増加と、これらの疾病に基く後遺症がみられ、特に新潟県では、全国に比して高く岩室村でも同様の死因の第一位を示している。

このような実状の県民福祉向上を考え、県下唯一の温泉専門病院リハビリテーションセンターを建設し成人病征圧はもとより労働災害、県民病及び、交通事故による、後遺症など疾病に悩む患者の早期恢復と、社会復帰も早められる。国民健康保険で定められた、機能訓練等のために必要な設備もこれらに準じて整備され、私達も国保を利用して安く利用できる。

今年中に一部建物を撤去し鉄筋二階建の管理棟を建設し残る部分は改築して、病棟、機能訓練、看護棟、温泉として使用し、温泉源は、集中加熱所から導泉され、その泉質も医療面からも非常に良好で常時三十度Cで泉量も充分で、〝温泉のある病院〟完成が待たれる。

間中　間瀬部落と日本海を、一望できる高台にあり、キレイな空気と環境は厚生施設に最適の場所、建物一、六九二㎡、土地二、六七二㎡が、新潟県生命共済農業協同組合連合会が『海の憩の家』として、農民の保養施設となる。同地区の海岸道路弥彦スカイラインの中心にあり、今後の発展は、目ざましいものがある。

グループ（草の実）で村議会傍聴

議員さんにちょっと〝イタイ〟言葉

＝開会時間は厳守して＝

第四回岩室村議会臨時会は十六日、間瀬支所に招集付議事件として、四十三年度一般会計、歳入出千五百五一二千円を補正し、総予算は早くも二億円突破の大型予算となり、その他、村有財産の処分について他四件可決した。当日、女性のみのグループによる議会傍聴があり『村民の手による村民の村政』……の気運と理解が深まりつつある今回の傍聴については、クリーン、ヒットではなかろうか。

このグループは、栄、西船越、潟上部落の四十才～四十四才位の家庭の主婦八名で互いに共通の悩みを話し合、学習し合って、家庭生活の向上と地域住民のためにも役だとうと昭和三十八年、青柳栄子(栄)さんを中心に、家計簿を記入することによって、ムダを省き、現在予算生活を営み生活改善に力をそそいできた。

今回の村政勉強会は、私達の選んだ代表の、村政についての熱意ぶりと、自分たち自身も村政について、勉強しようと、メモを片手に傍聴――議会の招集時刻は、九時三十分、しかし開議はおくれること数十分、『村の最高議決機関が、時間を厳守しないとは……』

このグループ一同のこの気持は、議員さんたちには、ちょっとイタイ言葉――

当初、傍聴を計画したとき女のくせに……と思われると思い、とまどったが、やはり傍聴してよかったと思う。村政が身近かになった、今後も勉強していきたい……と語っていた。

!!傍聴希望者は議会事務局へ!!

学校プールを開放します

使用きまりを守らない場合は、開放中止の態度

小、中学校の体育の正課として、和納小学校プールで水泳指導が行なわれていますが、空いた時間を利用して一般にも開放します。昨年の実績をみますと、利用者のきまりを正しく守らない人が一部にありましたので、今年こそは必ずきまりを守って開放中止にならないよう、たのしく利用して下さい。

一、プールを開放する日

八月
一、二、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十九、二十、二十一、二十二、二十七、二十八、二十九、三十日（土曜、日曜はプール清掃のため使用しない）

二、開放時間

午後五時～七時

三、使用条件

(1)、使用者は必ず学校へ申し出て許可をうけること。氏名（団体、グループの場合は代表者氏名）人数を開放日記に記入すること。

(2)、使用後は必ず学校に報告すること。

(3)、入水前に消毒槽で消毒し、シャワーを浴びて身体を清潔にし、プールの水をよごさないこと。

(4)、施設設備をこわさないように気をつけること。

(5)、構内で飲食、喫煙を絶対しないこと。

(6)、午後七時以後は絶対に使用してはならないこと。

(7)、その他、管理者の指示に必ず従うこと。

亘知事ひょっこり役場を訪門

村民プール 農免道路 新設に助力を約す

「明るい村づくり」に取組んでいる岩室村民には大きな期待をよせている…とにこやかに横山村長と語る亘知事

亘知事がひょっこり単身で六月二十四日午後、役場を訪門した。訪れた知事は、村執行部と話し合い横山村長から、岩室村は、長期的且つ広域視野に立って村発展に村民が一つになって努力ちゅうであり、本村の財政難の中にあっても是が否でも促進しない限り、村の発展は望み得ないものもありこれらについて県当局もご配慮とご助力を願いたいとして、土木施設観光及び厚生施設、治山治水施設について強く要望した。……

知事は「岩室村民が一つになって、村づくりに取組んでいることは充分知っている。この真剣な村民のためにも来年度中には、村民プール建設に助力をしたい。その他農免道路等の岩室発展には充分な助力をしたい」……と大きなプレゼントをして帰っていきました。

待望の村民プール建設に明るい見とうし

村民みんなが水泳ができ、水に親しむ、村民皆泳運動が叫けばれていましたが、村当局も実現に全力を傾注してきた結果、各方面の協力を得ることができ、プール建設に明るい見とうしができました。細部にわたる建設計画案は決定されていないが、一応の計画としては、岩室小学校に建設され来シーズンまでに完成させたい希望。浄化水装置、シャワー等の衛生設備も完備され、照明設備もなされ夜間も広く開放される。このプール建設により、村民一人一人が泳ぐことができ、村内から水死事故を追放できると期待も大きい。又村民運動会と相まって、村民水泳大会開催も、ユメではなかろう。

〝主婦に明るい知らせ〟

暮しよくなります

ゴミ運搬車購入

岩室、巻、西川、潟東、四ケ村の共同の悩み、ゴミ処理について、資金を出し合い、広域ゴミ処理場が建設され、現在フル運転中です。家庭の主婦よりカや蠅が少なくなったと大歓迎、しかし現在のゴミ集収計画運行では、万全のサービスとはいかず、又数年後に排出されるゴミの量も数倍にふくれあがることが推定され、これらの対策が研究されているがごみ運搬車「価格一七〇万円、内一〇〇万円地方債」を購入することになりました。この自動車が納車され次第くまなく村内を巡回いたします。尚この自動車は特殊自動車で発注後五十日位の納車期間を要しますので、その間現行計画で収集いたしますので多少不便を感じますが御協力下さい。まだ以前の習慣で西川や矢川の土手、空地にゴミを捨てている家庭がありますがやめましょう。

明るい生活環境は一人一人の力では、つくることはできません。村民全員が一致協力してやらなければ不可能です。

西保育所増改築きまる

定員四〇名増 ベビーブーム・訪れない限り 全員入所可能

西保育所は定員八〇名保母六名で運営し、さらに岩室季節保育所に二七名入所させ幼児保育と教育をしてきましたが、それでも入所基準範囲内にあっても、定員の関係で入所できない幼児がいましたが、『人づくりによる村づくり』……

幼児教育が人間形成に重大な期間であり保育施設の充実化が叫けばれていましたが、七月十六日臨時議会で同保育所の増改築工事が可決された。

総予算四百三十一万円、遊ぎ室の拡張、保育室、便所増設と内部の一部改造され、テラスが設計され、雪国の日光の少ない日を補うため、テラスで充分日光浴できるよう工夫され、遊具等も整備される。

この工事が完成すると、定員四〇人増の一二〇人収容できることになる。担当課の話では「ここ数年間の人口動態の動きや統計の細いデータを基に計画したもので、将来ベビーブームが訪れないかぎりここ数年間は入所希望者は全員入所できる」とのことです。

死亡の部

氏名	年令	死亡月日	世帯主	部落
石添婦久	69	6・20	義雄	岩室
阿部タケ	41	7・4	忠義	和納6区
丸山徳太郎	64	6・23	敏	間瀬5区
篠原弥三吉	37	7・17	キク	間瀬7区

出生の部

氏名	出生月日	保護者	部落
加藤留美子	6・18	茂	和納8区
木原欣也	6・14	功	石瀬
斎藤麻由	6・24	実	和納1区
五十嵐栄二	6・19	悦雄	岩室
本間和幸	6・18	征男	栄
青柳正文	6・30	正幸	和納3区
竹内小合百	7・4	登	和納6区
大治仁	7・8	実	和納2区
岩富範子	7・2	斉	栄
水沢信子	7・6	勇次郎	南谷内
本多稔子	7・9	稔弘	津雲田

おめでた　おくやみ　7月17日まで

個人事業税1期分

納期限　8月31日

納税通知書を持参して最寄りの銀行，郵便局にお忘れなく納付して下さい。

巻 財務事務所